

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市食育推進会議		
開催日時	令和5(2023)年6月23日(金) 午前10時から午前11時10分		
開催場所	ふれあい交流館1階 102会議室		
出席者	<p>【会長】村田副市長</p> <p>【委員】小野田加代子委員、小野田勝輝委員、雪江恵子委員、青木正也委員、安江将吾委員、林晴子委員、宮崎真希子委員、岩下智沙委員、柘植知則委員、新谷千晶委員、兼平奈奈委員、増岡庶委員</p> <p>【助言者】林禎二助言者、杉原孝子助言者、近藤貴子助言者、中川葉菜子助言者</p> <p>【事務局】成田市民経済部長、原田市民経済部次長、森下副主幹、出口主事、藤森保険健康課長、星野主事、衣斐副園長、長谷川主幹、岡田主任主査、山田主事、豊田加茂農林水産事務所農政課中畑主事</p>		
次回開催予定日	令和5(2023)年11月頃		
問合せ先	市民経済部産業振興課 森下・出口 電話 0561-32-8015(直通) メール sangyo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	
審議経過	別紙会議録参照		

原田次長	<p>定刻となりましたので、ただいまから「みよし市食育推進会議」を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、礼の交換をしたいと思いますので、ご起立ください。一同礼。ご着席ください。</p> <p>申し遅れましたが、本日の会議の進行を務めさせていただきます。産業振興課長の原田と申します。</p> <p>本日の会議は、みよし市食育推進会議条例に基づいて開催される会議です。また、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき、会議はすべて公開となりますので、あらかじめご了承ください。なお、傍聴者の方はおられません。</p> <p>それでは、お手元の会議にして参りたいと思います。</p> <p>次第の1 今年度、充て職先の組織などで、交代されました10名の方に、委嘱状を交付させていただきます。</p> <p>本来なら、御一方ずつ御渡しするところですが、時間の都合上、机上交付とさせていただきますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>次第の2 本推進会議の会長であります副市長の村田から、ごあいさつを申し上げます。</p>
村田会長	<p>おはようございます。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。今年度の4月より副市長に就任したのですが、食育に関しまして、今年が第3次計画の節目の年ということで皆様のご協力をよろしくお願いしたいと思います。第4次食育計画推進の策定の方針、次に向けた年になっております。</p> <p>あと、新型コロナウイルスの関係ですけれども、これに出席されている皆様は特に関係があると思うのですが、以前までの生活が戻りつつある中、五類に下がりました。市としても継続してやっていたお祭りやイベントで、ノウハウが必要だったり、過去の経験をたどったりして、戻る時の大切さを感じております。</p> <p>コロナが一区切りして、身近なところではやはり会食の機会が増えたように感じます。会食のときに、3010運動といって、宴会などの際に乾杯後の30分、お開きになる前の10分は席で食事を楽しむ、という部分は心がけております。</p> <p>食を学ぶってということは、楽しさを含んだ部分が含まれるという風に</p>

<p>原田次長</p>	<p>解釈しておりますので、食育計画策定のために有意義な会が展開されることを祈っておりますので、ご協力いただき、積極的なご意見をいただければと思います。以上、挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議出席委員は14名です。条例第7条第3項の規定による過半数に達しておりますので、本日の会議は成立しております。</p> <p>また、事前に委員の加藤様、奥村様、堀本様、小川様、助言者の野々山様からご欠席の連絡を、また、助言者の野々山様の代理で中川様が代理出席との連絡を受けましたので、ご報告いたします。</p> <p>議事に入る前に、お手元の会議資料を確認いたします。本日の資料として、事前に会議次第・委員名簿・食育推進事業評価表・アンケート対象人数・アンケート項目案、新規の委員の方には、第3次食育推進計画書と概要版をお送りしました。</p> <p>また、配席表を本日、机上に配付させていただいております。</p> <p>お手元にご案内した書類が欠落しておりましたら、お申し出ください。</p>
<p>村田会長</p>	<p>次第の3 それでは、これより議事に入ります。</p> <p>議事の進行につきましては、条例第7条第2項の規定により、会長が議長になるとありますので、村田会長に申し上げます。</p>
<p>原田次長</p>	<p>それでは、次第に従いまして議事を進めてまいりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>議題（1）の「第3次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>森下副主幹</p>	<p>産業振興課の森下です。よろしくお願いいいたします。第3次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要についてご説明させていただきます。</p> <p>第3次みよし市食育推進計画は、第2次計画の進捗状況を分析し、実情に沿った食育施策を計画的に推進していくため、令和元年度から令和5年度までの5年間を計画期間として平成31年3月に策定しました。</p> <p>第3次食育推進計画の策定においては、第2次食育推進計画の内容</p>

を踏まえ、市民一人一人が自ら食を見つめ直し、健康的な食生活を培い、安全で無駄のない食の環境づくりや、地産地消を進め、これらを実践するための行動指針を定めることにより、市民の皆さんが生涯を通しより良い食生活が築けるよう、更なる食育の推進に取り組むこととしております。

また、第3次食育推進計画においても、『食を通した「人づくり」「健康づくり」「環境づくり』を基本理念とし、3つの基本目標、市民の行動指針や目標値などを定めております。

第3次食育推進計画概要版、1ページをご覧ください。第3次食育推進計画策定時に実施したアンケート結果で出てきた課題として、「朝食の欠食者割合の増加」「食事の栄養バランスに気をつけている人の減少」が示されています。

2ページでは先程申し上げた基本理念を、また基本目標として『「人づくり」食の大切さや楽しさが分かる心豊かな人を育てる』『「健康づくり」食を通して健康な体を育む』『「環境づくり」食に関する環境を整える』の3つを掲げております。

3ページでは、市民の行動指針として3項目、

- ①「食育ははじめの一步」を踏み出そう
- ②望ましい食習慣を身につけよう
- ③食への関心を高めよう

を合言葉に、食育について具体的に取り組む際のキーワードを示し、市民一人一人が日常生活の中で意識し、自ら行動していくことを推進していくこととしております。

4ページでは、0歳から5歳頃までの乳幼児期から65歳頃からの高齢期までの6つのライフステージごとに、重要なテーマを明らかにし、効果的に取り組んでいくこととしております。そして、5・6ページではライフステージ別の取り組みを定めています。

7ページでは基本目標ごとの目標項目と目標値を表記しております。家庭や学校などの関係各団体において、計画期間中に様々な取組を行っていただくことにより、令和5年度までに達成すべき具体的な数値を掲げております。なお、各目標の取組事項の内容の詳細は、第3次食育推進計画書本編41ページから68ページに掲載しておりますのでご確認ください。

以上が第3次みよし市食育推進計画の説明となります。

続きまして、みよし市食育推進会議の概要について説明させていただきます。

	<p>この食育推進会議は平成19年から施行しました「みよし市食育推進会議条例」に基づいて設置する附属機関です。条例の条文について、第3次食育推進計画書の79ページ、80ページに掲載してありますのでご覧ください。</p> <p>この条例には、第2条で会議の所掌事務を「食育推進計画の策定とその実施を推進すること」としており、本日の会議においては、第3次食育推進計画の推進と実施について協議いただくこととなります。第4条で会長を副市長に、第5条で委員について「食育に関して十分な知識を有する者」「市内に住所を有する者等」としており、委員任期を2年とし委嘱させていただいております。</p> <p>食育施策は、家庭を中心とし、保育園・幼稚園、学校、地域、農業団体、事業所、行政などが、それぞれの役割や特性を活かしながら、互いに連携、協力して事業展開をしていくことが重要であると考えております。</p> <p>第3次食育計画推進のため、また、今年度末策定予定の第4次食育推進計画策定のため、食育推進会議において関係各団体の代表や学識経験者などの皆さんに委員としてお集まりいただき、様々な立場での活動状況やご意見をいただきながら、更なる食育施策の推進を図ってまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。</p> <p>以上で議題（1）の説明を終了します。</p>
村田会長	<p>全体を通して今の説明について、ご質問、ご意見お願いいたします。</p>
	<p>(意見・質問無し)</p>
村田会長	<p>続きまして、議題（2）の「みよし市の食育推進に関する取り組み状況について」事務局より説明をお願いします。</p>
出口主事	<p>みよし市食育推進会議事務局の出口です。よろしく願いいたします。</p>
	<p>では、みよし市の食育推進に関する取り組み状況についてご説明させていただきます。</p>
	<p>資料の別紙1「食育推進事業評価表」をご覧ください。</p>
	<p>こちらは、みよし市の食育推進に関する取り組みの状況となります。第3次みよし市食育推進計画に掲げられている「具体的な取組」</p>

	<p>を実施している各団体に対して、令和4年度の実施状況と令和5年度の実施計画を聞き取ったものになります。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止で事業の開催を取りやめたり、第3次食育推進計画の5年のうちに事業の見直しで活動を休止したりした団体や事業を含め、14事業が中止となりました。一方で、保育園・幼稚園や小中学校での給食を通しての取組や、農作業体験等の三密を防ぎながら屋外で行える取組など88事業は継続して実施、また、参加人数を減らしたり、材料やレシピを配って自宅で調理したりするなど、内容を変更して実施した取組は9事業あり、合計で111の事業となっております。今年度については、新型コロナウイルスが五類に引き下がったこともあり、コロナ禍以前の内容で実施する団体も多くあると思います。今後も工夫を凝らした事業が実施できるよう、事務局としても実施団体に情報提供するなどして更なる食育活動の推進を目指していきます。</p> <p>以上、食育推進に関する取り組み状況の説明となります。</p>
村田会長	<p>ほとんどの事業で継続、計画の5か年目ということもあり、事業の見直し等で廃止する事業もごくわずかにありますが、委員の皆様のご自身の関係する分野において、変化があった方がいらっしゃればご報告いただきたいので、よろしくお願いします。</p>
新谷委員	<p>学校給食の人気献立のレシピを掲載するという項目が、システムの関係で継続できなくなっていますが、子どもがどういう給食を食べているか、どういう給食が人気なのか、など、子どもと話す機会が減ってしまうのではないかと思います。今まで掲載していた中でどんな反響があったのか、またシステムの変更であるなら代替案が無いのかと思いました。</p>
近藤助言者	<p>北中学校栄養教諭の近藤と申します。よろしくお願いします。</p> <p>今ご指摘のありました件についてですが、家庭には献立表を配布していて、用紙はA3で裏表になっています。その中には、献立表と食品についての一口メモなど、ポイントを書いています。愛知県産・みよし産の食材や、エネルギーなど、必要な内容を記載して紙面に余裕があった時にそのレシピを書くという風になっています。</p> <p>ですが、どうしてもスペースが限られてしまうので、ホームページにレシピを載せたり、学校掲示の献立にはさまざまな情報を掲載した</p>

	<p>りしておりますので、そちらをご確認いただければと思います。</p>
<p>村田会長</p>	<p>見える化して工夫して継続していただけるということでした。他にもご意見がございましたらお願いいたします。</p>
<p>小野田（勝） 委員</p>	<p>27番ですが、コロナ禍だったこともあり、保育園や幼稚園では黙食がされていたと思いますが、今現在の状況はいかがでしょうか。</p>
<p>林委員</p>	<p>みどり保育園長の林です。よろしくお願いたします。</p> <p>今現在ですが、一切子供たちに黙食ということは伝えていないです。ですので、子どもたちは会話を楽しみながら、食事ができるようになったと思っています。</p> <p>合わせて、当番活動の再開など、今まで注視してきたことを元に戻すということができると考えています。</p>
<p>村田会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、助言者の方のご意見も伺いたいと思います。林様、いかがでしょうか。</p>
<p>林助言者</p>	<p>コロナ禍のため食育推進を行えない部分が各部門であったかと思いますが、五類に引き下がり、いろんな規制が取れておりますので、向こう5年間、また第4次計画に向けて、現状を分析した上でよい計画を策定できればなと思います。</p>
<p>村田会長</p>	<p>杉原様、お願いたします。</p>
<p>杉原助言者</p>	<p>質問になってしまいますが、8ページの47番の「パッククッキングの体験」について、災害時に利用できるパッククッキングを体験してもらおうという活動があると思いますが、コロナの影響もあり、今後実施予定が無いとのことでした。もしも災害が起こった時には、物資が行き渡らなく、避難生活が続くと栄養の問題も出てきます。そんな中で、パッククッキングを活用しながら体験できる機会があることは大変有意義だと思うのですが、何か違う形で実施される予定があるのか、ほかの取組があるのかお聞きたく質問させていただきました。</p>
<p>星野主事</p>	<p>保険健康課の星野です。食生活健康推進委員会なのですが、コロナ禍</p>

<p>雪江委員</p>	<p>で活動が減り、調理実習ができず、委員も減少したため、一度活動を見直そうということになりました。ほかの調理実習は、徐々に再開していく予定で、今後またパッククッキングも再開していければと思います。</p> <p>今のお話にありました、食生活健康推進委員会の雪江です。</p> <p>計画を進めていきたいのですが、会員の減少が大きな問題となっています。コロナの影響でまた減少してしまい、新たに会員になられた方も活動ができないため、辞められる方もいらっしゃって、現在の会員は数人程度になっています。だからいろんなレシピを開発して、皆さんに提供していきたいと思っております、「バランス」をテーマにしたレシピを考えています。先ほどの話に上がったパッククッキングを行うためには、もう少し会員が必要かなと思います。ですが、今までやってきた実績がありますので、レシピカードづくりを提案していこうと思います。</p>
<p>増岡委員</p>	<p>公募で委員をさせていただいている増岡です。</p> <p>番号でいうと、110番の軽トラ市の話ですが、さんさん市場の会という団体の中で活動しています。出店者が年々減ってきており、買い物のお客さんも減ってきて少し残念な感じがします。もう少し改善できるといいなと思いますが、いかがですか。</p>
<p>青木委員</p>	<p>みよしの農作物が売りたいっていうのがなかなか売れてないということですね。みよし市内の飲食店事業者がみよし市内の農作物を使っているかという、使っていない方が多いと思います。市内でどういうものが育てられていて、どこで売っているのかを分かっていないことや、飲食店事業者たちが、農作物を年間どのくらい使っているか数値化できてないということもあります。この作物がこのくらいここで手に入りますという情報を集約して数値化したものをいただければ、商工会員の店舗や事業者にこういうものがあって、こちらで買ったらどうですかという提案ができ、地産地消にも役立つと思います。その連動性は、商工会と連携できるといいなと思います。</p>
<p>村田会長</p>	<p>集約と継続っていうのがキーワードですね。</p> <p>定期的に、この時期にこういうものが提供できるというところから窓口で紹介することで、売りたい人、買いたい人の連動性が持てるの</p>

出口主事	<p>と思います。情報提供から始めようということですね。せっかくのいい機会なので、つながって、様々な部分で協力できるとよいと思います。</p> <p>ご意見をいただきありがとうございます。続きまして、議題（3）の「第4次みよし市食育推進計画」につきまして、事務局より説明をお願いします。</p> <p>議題3につきまして、事務局よりご説明申し上げます。</p> <p>まず初めに、食育推進計画見直しスケジュールについてです。現在、第3次みよし市食育推進計画の五か年計画の最終年である今年度は、現在の計画を見直し、必要な改定を行い、令和6年度からの新たな「第4次みよし市食育推進計画」の策定を行うこととなります。</p> <p>計画の見直しにあたり、数値目標の最終的な達成状況と今後の目標を掲げる資料とするため、年中児、小学2年生、小学5年生、中学2年生、高校生、18歳以上の市民を対象としたアンケート調査と調査結果の分析を10月上旬にかけて行う予定です。</p> <p>その分析した結果に照らし合わせて、現在の計画の評価と課題の抽出を行い、12月ごろまでに新たな計画案を作成し、パブリックコメントの手続きを経て令和6年3月までに新たな計画書の策定を行うこととなります。</p> <p>これらの見直し・改定の作業を行うため、食育推進会議を本日の会議の他に、10月、11月、12月、令和6年2月に開催予定をしております。</p> <p>また、食育推進会議で審議する・した内容を検討するため、食育関連部署の市職員による食育研究会を設け、食育推進会議の開催に伴い、必要な作業を行っていきます。</p> <p>続きまして、アンケート項目について説明をします。会議資料の別紙2-1をご覧ください。現在の計画で掲げる目標数値の達成状況と食育に関する市民の皆様の意識の動向を把握し、食育計画の見直しの資料とするため、市内の保育園・幼稚園に通う年中児の保護者約750名、小学2年生の保護者約620名、小学5年生約570名、中学2年生約620名、三好高校の2年生約270名、無作為抽出による高校生を除いた18歳以上の市民1,000人の合計約3,830名を対象にアンケート調査を行います。年中児（5歳児）から高校生までは、各保育園、幼</p>
------	--

<p>村田会長</p>	<p>稚園、学校にご協力をいただき実施し、18歳以上の市民は郵送にて実施いたします。</p> <p>アンケート調査で聞き取る項目につきまして、別紙2-2のとおりです。一覧表は各年代にわかれており、また資料として事前にお配りしている参考資料1~4はアンケート用紙の案です。アンケート内容について、委員の皆様が率直なご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>見直しスケジュールの方は委員の皆様が一番気になる場所だと思いますので、もう一度説明いただけますか。</p>
<p>出口主事</p>	<p>はい。9月末までにアンケート調査を行って、先ほどもお伝えした通り、10月上旬までに調査の結果の分析は行う予定です。その結果をもとに、10月中に、2回目の会議を、11月中に3回目の会議を予定しています。</p> <p>本日は、そのアンケートの内容についてご確認いただき、その内容でアンケート調査の結果の報告を10月中の会議でお伝えしたいと考えております。続いて、11月に開催する予定の会議に関しては、12月ごろまでに計画案を策定作成する予定ですので、皆様にご確認いただきたいです。4回目の会議を予定している12月には、骨子から内容を深めた計画案を作成しますので、こちらのご確認を行いたいです。並行しまして、委員の皆様ではなく、市民を対象に意見を求めるパブリックコメントという機会がありますので、そちらの準備を行います。最後に第5回目は、令和6年の2月に開催予定をしております、パブリックコメントを終え、最終的な計画案を提示し、委員の皆様と最終協議を行うことを想定しています。</p>
<p>村田会長</p>	<p>ありがとうございました。今後の進捗についても事務局から報告があると思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続いて、アンケートの項目についてなのですが、今事務局から説明があったとおりですが、何かご意見・ご質問のある方はいらっしゃいますか。</p>
<p>増岡委員</p>	<p>私はこの中では、年齢が高いと思いますが、18歳以上の枠について、65歳以上で枠を設けることはできないでしょうか。質問の内容</p>

<p>出口主事</p>	<p>については問題ないと思いますが、65歳以上の方たちが食育に対してどのように考えられているかを知りたいです。その辺いかがでしょう。</p> <p>ご意見いただきありがとうございます。65歳以上で別枠を設けることについて想定をしてなかったのが、今ご意見をいただいて、今後高齢化が進んでいく中で、食育がこどもだけのものとか、お年寄りだけのものっていうものではなく、全世代が対象だと思いますので、今いただいた意見も事務局で検討させていただきます。</p>
<p>村田会長</p>	<p>要はライフステージで、18歳以上の部分は全部一緒になっているのがどうか、というところでご意見をいただいたと思います。過去の計画策定時に集計してきたアンケートと変わってしまうと、統計的な面で問題がある可能性があり、検討が必要だと思いますので、事務局で検討して回答するようにさせていただきます。</p>
<p>柘植委員</p>	<p>三好高校の教頭の柘植と申します。よろしくお願いたします。今のところアンケートは紙媒体で行うことを想定していますか。</p>
<p>出口主事</p>	<p>はい、紙媒体でのアンケートを想定しています。</p>
<p>柘植委員</p>	<p>もし、集計が簡単に行えるということであれば、ネット媒体が良いと思います。現に、学校ではタブレット端末を用いています。小中学生もおそらく同じようにタブレット端末で行うことができると思います。作業の効率化を考えるとGoogle form等を用いることも一つの手だと思いますので、ご検討いただければと思います。</p>
<p>村田会長</p>	<p>ありがとうございました。小野田委員、よろしいですか。</p>
<p>小野田（加）委員</p>	<p>はい。今まで、食育推進会議に参加させていただいて、過去の資料を振り返っていましたが、食事の仕方がこの数年で変わったと感じているように感じており、アンケートの方法も現代に合わせていく必要があると思いました。</p> <p>また、アンケートの聞き方なのですが、同居している家族のことで、同居というのは同じ建物に住んでいるのか、それとも、違う建物だけど同じ敷地内に家があるのか、人によって伝わり方が違うように</p>

	<p>感じました。</p> <p>また、農村生活アドバイザーで、トウモロコシの収穫体験を行っていますが、いらっしゃる方はだいたい同じです。広告を出してもやはり興味がある方しかいらっしゃらないのだなと実感しています。トウモロコシの食べ方や収穫の仕方など、ちょっとしたことですが皆さんに食育について関心をもってもらいたらいいなと思いました。</p>
村田会長	<p>ありがとうございました。安江委員、いかがでしょうか。</p>
安江委員	<p>PTA 代表の安江です。ペーパーレスって言われている時代で、仕事もタブレット等で行うのが通常化されてきて、市役所のアンケートや資料と違って、全部紙媒体なのはどうかなってという疑問を感じます。</p>
村田会長	<p>ありがとうございました。宮崎委員、いかがでしょうか。</p>
宮崎委員	<p>はい。私自身子育てをしながら仕事をしています。アンケートを見て、自分で回答してみながら確認していたのですが、できていないなという部分がありました。やらないといけないなとは思いますが、実際には難しいなというのは思いました。</p>
村田会長	<p>ありがとうございました。岩下委員、いかがでしょうか。</p>
岩下委員	<p>はい。私はみよし市外出身のため、みよし市の郷土料理や特産品についてあまり詳しくないため、子どもには「みよし市ではこういうものが有名で、こういう野菜が作られているよ」と伝えられるようになるといいなと思いました。また、今日給食センターのホームページに献立や役立つ情報が掲載されていることを知ったので、今後に生かしたいと思います。</p>
村田会長	<p>ありがとうございます。兼平先生、いかがでしょうか。</p>
兼平委員	<p>以前お話に出ていると思いますが、市役所や市民病院の待合のモニターに食育関連の情報を流すのが良いという意見があって、広く周知する面ではそれはいいなと思います。</p> <p>またアンケートのことですが、あまり細かい分類だと集計や統計上の問題もあるかと思うのですが、もし分けるのであれば、65歳以上</p>

村田会長	<p>の高齢者の部分では、摂るべき栄養がほかの世代と若干違っているかなというふうに思いますので、その項目を少し増やせるとよいのではないのでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。保健師代表の中川様、いかがでしょうか。</p>
中川助言者	<p>市民の方の意見を直接聞ける大切な機会だと思います。これまでの計画の見直し・評価をするために、ご意見にあったライフステージ別の集計ができるのであれば、次の計画にも良い影響があるのではないかと思いますので、ご検討いただければと思います。</p> <p>ありがとうございます。中畑様いかがでしょうか。</p>
中畑主事	<p>豊田加茂農林水産事務所農政課で食育を担当しております、中畑と申します。アンケートについて、18歳以上については皆様お話しいただいていると思いますが、こども世代のアンケートは幅広く区分けをしているように感じました。冊子のほうのライフステージでは、「少年期」というように集約されています。6歳から18歳では食生活だけでなく、普段の生活リズムも異なると思いますので、区分けできるといいのかなと思います。</p> <p>また、みよし市民のための食育ということだと思いますが、障がいのある方の食育についても触れることができれば、みよし市全体の食育計画としてよりよいものになるのではないかと思います。</p>
村田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日皆様からご意見をいただきましたので、アンケートの標本数や年齢の幅など、アンケートを実施する前に、フィードバックして進めていく予定でございます。</p> <p>内容についてはまだお気づきの点がございましたら、事務局にお問い合わせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で、予定していた議事等はすべて終了いたしました。これをもちまして議長の職をおりて、進行を事務局にお返しさせていただきます。</p>
原田次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様からいただきましたご意見ご提案を基に、アンケートを実施し、次回の会議では、その結果と食育の現状と課題を議題とさせていただきます。</p>

ただきたいと考えております。

また、次回の会議の開催日については、郵送で追ってご連絡いたしますのでお願いいたします。

以上で令和5年度第1回みよし市食育推進会議を終了いたします。それでは一同ご起立ください。一同礼。ありがとうございました。

